

平成 2 9 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園
2	指定管理者 名称	環境整備株式会社 代表取締役 竹島 秀幸
	住所	栃木県宇都宮市岩曾町1333
3	指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町教育委員会生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>平成29年度のスィミングドーム利用者は、43,785人で前年度より4,393人減となった。利用者の内訳は、町内が24,186人(55.2%)、町外が19,599人(44.8%)であり町内利用者がやや多い状況である。集客の取り組みとして、夏休みイベント（例年事業）の開催や、エアロバイクを4台導入し無料利用とした。また子どもから大人までを対象とした水泳教室や長期休業中を利用した短期子供水泳教室を引き続き実施し、認知度や利用者の拡大を図っている。しかしながら、2年前にオープンした西郷村営プールに一部の利用者が流れている。理由としては、6か月券及びシルバー料金が低く設定されていることが挙げられる。これらのことからスィミングドームの入場減が続いている。</p> <p>余笹川ふれあい公園については、グラウンドゴルフや九尾まつりが行われるなど、例年どおりのイベントが開催された。</p>
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	利用者アンケート・意見箱設置を通年で実施しており、改善要望等に対応可能な事項については、早急かつ適切に対応している。施設整備や利用関係の改善要望もあるため、町として改善すべきものは検討し、対応したい。なお、余笹川ふれあい公園利用について、土・日曜日は、誰もが自由に公園を利用できるように、団体で行うグラウンドゴルフ等の利用は行わないこととしている。また、従業員研修の強化や窓口・電話対応の向上を図り改善を行っている。
8	指定管理者の経理状況の評価	平成29年度の収支について、収入総額は69,733千円(内委託料44,820千円、売上金24,913千円)の前年比マイナス963千円に対し、支出総額は74,717千円の前年比プラス6,122千円で、4,984千円の赤字となっている。主な要因としては、有料入場者数の減少と電気代・灯油代等が大幅に増加したのが要因である。今後必要経費は大きな変動がないと考えられるため、入場料収入や自主事業等による収入増への取り組みが必要である。
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	指定管理者更新最終の5年目となった。過去4年と同様に町と月次定例会を実施しており、事業報告はもとより問題点や利用者からの要望・改善事項等について話し合いを行い、速やかに対処するよう努めている。施設管理面では、施設の老朽化に伴う修繕等を町との協定に基づき積極的に実施しているが、平成8年開設以来23年が経過し、年々修繕が増加しているため、大規模な改修を今後検討する必要がある。
10	評価ランク	: D
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
	B : 良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
	C : 普通の施設の運営状況であった	

平成 29 年度 評価 シート

1	施設の名称 那須町立図書館
2	指定管理者 名称 株式会社図書館流通センター 代表取締役 石井 昭 住所 東京都文京区大塚三丁目1番1号
3	指定期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
4	施設所管課 那須町教育委員会 生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等） ・協定書、仕様書等にそって、業務は概ね予定どおり履行されている。
6	利用状況、運営状況 ・平成29年度の開館日数は306日（前年比1日減）、入館者数は57,099人（前年比989人減）貸出人数は16,975人（前年比368人減）であった。1日当たりの平均では、前年度に比べ、入館者数は2.6人減の186.6人、貸出人数は1.0人減の55.5人となった。 これらの要因としては、4月から7月まで行われていた図書館前駐車場整備工事による影響が減少の主な一因となっている。 ・那須町子どもの読書活動推進計画に基づき、読み聞かせ入門講座、図書館スタッフ向けに読み聞かせ研修会を開催した。 ・新規事業として「那須歴史講座」「子どもプログラミング教室」を開催し、夏休み事業として「読書感想文書き方の教室」を開催した。
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価 ・指定管理者が実施しているアンケート調査によると、図書館内の図書整理状況、予約サービス、スタッフの対応、館内の清潔さについて、昨年同様概ね満足されている状況である。 ・利用者からの要望の多くは、図書の充実が求められている。 ・利用者の多くは60歳以上の方が多いことから、エレベーターや障害者用トイレの設置の要望が多く、バリアフリー化を検討する必要がある。 ・利用者の高齢化が進んでいる状況から、大活字本や成人向け紙芝居の購入を行っている。 ・情報通信技術の進展に伴いパソコンに加えてスマートフォンやタブレット端末の電子書籍貸出しサービスを検討していく必要がある。 ・図書館の構造上、死角となる場所が多数存在するため、施設の安全管理上、防犯カメラの設置を検討する必要がある。
8	指定管理者の経理状況の評価 ・収入及び支出については、適正に処理されている。 ・図書購入費は、仕様書に明記されているとおり年間500万円が支出されている。
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など） ・町と指定管理者は、毎月定期的に報告・検討会を開催し、情報交換するとともに問題点の改善を図っている。 ・利用者が年々減少傾向にあることから、戦略的な図書館運営が必要である。一方で施設の改善が必要であり、他の施設との複合化など、今後のサービスや施設の在り方について検討する必要がある。
10	評価ランク : C A : 非常に良好な施設の運営状況であった D : やや課題のある施設の運営状況であった B : 良好な施設の運営状況であった E : 課題のある施設の運営状況であった C : 普通の施設の運営状況であった

平成 2 9 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須町野外研修センター
2	指定管理者 名称	NPO法人 那須高原自然学校 理事長 小川 虹生
	住所	栃木県那須郡那須町大字高久甲5720番地
3	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町教育委員会生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>平成29年度の野外研修センターの利用者は、宿泊者が4,609人(対前年比87.0%)、日帰り利用者が916人(対前年比70.2%)、場内散策等も含めた延べ利用者(来場者)は5,557人で前年度より1,533人の減(対前年比78.4%)となった。利用者の内訳は、町内が1,106人(19.9%)、町外が4,451人(80.1%)であり町外利用者が多い状況である。</p> <p>減少の要因としては、平成29年の夏から秋にかけて台風などの天候不良のためのキャンセルによるものが多かった。</p> <p>運営面では、インターネットの活用や自然に囲まれた施設環境を活用した体験プログラムを積極的に導入し、野外研修センターの知名度も向上している。</p> <p>また、利用者の自然体験を促進し利用増加を図る。</p>
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<p>利用者には毎回アンケートを実施し、改善要望等を緊急性と重要性により分類し、スタッフ全員で意思統一を図るなど適切に管理している。</p> <p>ソフト面の改善については、アンケート結果に基づき実施できるものから早急に対応している。ハード面についても、キャビンの階段改修や炊事場の修理をはじめ、町と指定管理者の協議により計画的に修繕等を行う必要がある。</p> <p>自然体験から学べる研修施設として有効な利用の促進を図り、プログラム学習を組み合わせながら利用者の満足度を充実化させる。</p>
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成29年度の収支については、収入総額は16,550千円(内委託料8,698千円 売上金7,852千円)に対し、支出総額は16,910千円で360千円の赤字となっている。また、非常勤・繁忙期スタッフ等の人件費や施設故障等による修繕費の支出も増加していることから、今後は、利用者の更なる増加への取り組みを行う一方で、料金体系の見直しや人件費等の経費抑制を図るなど効率的な運営方法の検討が望まれる。</p>
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	<p>指定管理3年目で、地元育成会等の受け入れも積極的に行うほか、インターネットの利用等により、野外研修センターの知名度も向上している。</p> <p>自然を学べる施設として、より良い利用を図る。</p> <p>課題としては、2年後の指定管理期間が終了した際に施設の継続等について将来の運営の方針を検討する必要がある。</p>
10	評価ランク	: D
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
	B : 良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
	C : 普通の施設の運営状況であった	

平成 2 9 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須町共同利用模範牧場
2	指定管理者 名称	株式会社 那須の農 代表取締役 岡田建史
	住所	那須町大字漆塚567
3	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町農林振興課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	基本協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>○延べ預託頭数については、乳用牛 99,640 頭（H28：100,946 頭）で H28 比 1,306 頭の減となり、内訳は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季放牧 53,791 頭（町内 29,162 頭（54.2%）、町外 24,629 頭（45.8%））（H28 比 285 頭減） ・冬季預託 45,849 頭（町内 25,830 頭（56.3%）、町外 20,019 頭（43.7%））（H28 比 1,021 頭減） ・なお、肉用牛の預託については、全 36 牧区（約 219.1ha）のうち 26 牧区（約 138.2ha）を利用自粛しており、平成 24 年度から受け入れを中止しておりました。 <p>その後、平成 26 年度から平成 28 年度において、吸収抑制対策事業を実施し全牧区利用可能となりましたが、牧草畑の養生のため、平成 30 年度以降に肉用牛の受け入れを再開する予定です。</p> <p>しかし、近年イノシシによる草地の被害が増大しており、牧草の収量が減少していることから、和牛の受け入れに支障をきたすことが予想されるため、対策を講じる必要があります。</p> <p>○運営体制については次のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務処理分野では、特に問題なく円滑に運営が行われました。 ・現場作業分野においても、特に問題なく円滑な運営が行われました。
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	預託農家からは牛のコンディションがあがってきたとの意見があり、利用者にとって良い運営ができています。今後さらに満足していただけるよう、技術向上を図る必要があります。
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成 29 年度の収支については、収入総額 63,764 千円（消費税抜額）（内訳：委託料 18,510 千円、使用料 42,582 千円、その他 2,672 千円）に対し、支出総額 53,842 千円で、9,922 千円の収益となっており、前年度と同程度の内容となっております。</p> <p>なお、消費税については、仮払消費税（仕入）がなかったことから 5,037 千円（H28：2,917 千円）納税しております。</p> <p>今後は、全牧区利用可能となったことから、肉用牛受入再開に伴う預託頭数の確保が望まれます。</p>
9	総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	<p>指定管理開始から 3 年目となり、安定した体制が整い平成 29 年度は比較的良好な運営であったかと思われまます。</p> <p>新規農家獲得のため、今後とも広報活動や、さらなる技術の向上が必要であると考えます。</p> <p>施設管理の面では、昭和 43 年開設以来 49 年が経過し、施設の老朽化による改修、修繕等の必要性が増加している他、機械の老朽化が著しいことから、順次対応していく必要があります。また、イノシシによる草地への被害が増大していることから、対策を講じる必要があります。</p>
10	評価ランク	: B
	A：非常に良好な施設の運営状況であった	D：やや課題のある施設の運営状況であった
	B：良好な施設の運営状況であった	E：課題のある施設の運営状況であった
	C：普通の施設の運営状況であった	

平成 2 9 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須温泉ファミリースキー場
2	指定管理者	名 称 那須未来株式会社 代表取締役 薄井 正明 住 所 那須町大字高久乙593番地8
3	指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）
4	施設所管課	観光商工課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づく年度運営計画書に基づき適切に履行されていた。
6	利用状況、運営状況	<p>昨シーズンは、1月10日からのオープンであったが、今シーズンは12月29日からオープンすることができ、3月21日の最終日まで営業ができた。昨年を上回る実営業日数が確保できたため、昨年より経営状況は改善した。とくに年末年始にはたくさんの来場者があり、その期間だけで約400万円の売上となった。</p> <p>【利用状況】</p> <p>○リフト券等売上高 17,199,460 円（昨年度 13,222,090 円 130.1%） ○入場者数 18,200 人（前年度 14,800 人 123.0%） ○リフト輸送人員 175,854 人（前年度 107,415 人 163.7%）</p> <p>【運営状況】</p> <p>○営業期間 平成29年12月23日（土）～平成30年3月21日（水） 89日間 ○営業日数 77日（前年度66日） ○負傷者 6人（前年度8人）</p>
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<p>那須温泉ファミリースキー場はスノーボードの全面滑走禁止としており、安心してスキーを楽しめるスキー場としてファミリー層の満足度は高い。</p> <p>また、昨シーズンから開始した、大丸駐車場からの無料送迎を引き続き行い、送迎人数は延べ6,700名あり、利用者からは非常に好評である。</p> <p>更に、スキー場恒例のキッズイベントも引き続き開催し、多くのリピーターを集めている。</p>
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成29年度の収支は、収入総額は36,996千円（内委託料16,500千円、リフト使用料等20,496千円）に対し、支出総額は32,249千円で、4,747千円の黒字となっている。</p> <p>しかし、当スキー場には人口降雪設備がないため、自然降雪の影響を大きく受けることが、運営を不確定なものにしている。</p>
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	<p>二年目のシーズンとなり、新たな安全対策やサービスの充実により、スキー場の雰囲気が徐々に良くなってきている。また、ライブカメラによるリアルタイムなスキー場の映像と、フェイスブックによる情報発信、更には、大丸駐車場からの無料送迎を行うなど、利用者のサービス向上に努めており、サービス面での指定管理者導入のメリットが認められる。</p>
10	評価ランク	: B
<p>A：非常に良好な施設の運営状況であった D：やや課題のある施設の運営状況であった B：良好な施設の運営状況であった E：課題のある施設の運営状況であった C：普通の施設の運営状況であった</p>		